

【GIGA×指導の工夫・改善】 次時の学習に生かすためのコメント機能の活用

<考察>

初めのA児は、教科書から読み取ったことをもとに自分の考えを形成してはいるものの、具体性に欠けており、取り出す情報の量も少ない。

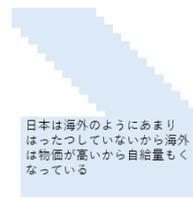
そこで、1人1シート(スライド)で個々の思考を見て、A児と似たような考えをもつ友だちと話すよう促した。さらに、教師がコメント機能を使って、児童に個別に情報を取り出す視点を与える。次時の学習では、1人1シートに学習課題をあらかじめ明記するようにした。

次時のA児は、カード(青)に見られるように、友だちの考えを取り入れながら具体的に考えられるようになっていた。取り出す情報の量にも変化が見られた。

取組の内容

before

教師は、必要に応じてコメント機能を使って個人に補助発問をし、目標達成を促す。



「海外のようにあまり発達していないから」と書いてありますが、何がどのように発達していないのかな。

学習課題を明記し、めあてを意識しながら取り組めるようにする。

after

めあて 食の安心・安全に対する取り組みはどのように行われているのでしょうか。  
なにをしたかわかるとおもいます。〈どんなそだてかたをしたとかどんな薬を飲ませたか〉

あんぜんせいえおたしかめてる  
ゆにゆうしたものにけんこうかチェックしてるとおもいます。  
個体識別はなにをのませたかわかる

日本の法律に合格しないと輸入できない  
何産か農家の人の写真とか商品に生産者やさいばいの記録どのようにしてつくったかについている。  
ごみの種類〈プラなど〉

まとめ  
輸入された魚や肉などは健康性をチェックすることで消費者に安全に食べてもらうことができる。もし安全じゃなかったら出せない